

予算決算委員会都市経済分科会会議録

招 集

令和5年12月22日（金）本会議休憩中 委員会室

出席委員（9名）

（分科会長）田 村 謙 介 （副分科会長）大 下 哲 治
岡 田 啓 介 奥 岩 浩 基 徳 田 博 文 中 田 利 幸
又 野 史 朗 松 田 真 哉 森 田 悟 史

欠席委員（0名）

説明のため出席した者

伊澤副市長

【経済部】若林部長

[商工課] 石田次長兼課長 上場課長補佐兼商工振興担当課長補佐
長門商工振興担当係長

【文化観光局】深田局長

[観光課] 田仲課長 宮前観光戦略担当課長補佐 高田観光戦略担当係長
[スポーツ振興課] 成田課長 宇津宮課長補佐兼スポーツ振興担当課長補佐

【農林水産振興局】赤井局長兼農林課長

[農林課] 山内課長補佐兼農政担当課長補佐 深吉土地改良担当課長補佐
林原農林振興担当係長

【都市整備部】伊達部長

[建設企画課] 遠崎課長 岡島総務担当課長補佐
[都市整備課] 本干尾課長 森課長補佐兼公園街路担当課長補佐
[道路整備課] 山中次長兼課長 督永道路改良担当課長補佐
長谷川道路維持担当課長補佐
足立課長補佐兼交通安全施設担当課長補佐

出席した事務局職員

松田局長 田村次長 森井議事調査担当局長補佐 松下調整官

傍 聴 者

安達議員 稲田議員 今城議員 門脇議員 国頭議員 塚田議員 津田議員
土光議員 戸田議員 錦織議員 西野議員 森谷議員 矢田貝議員 吉岡議員
報道関係者2人 一般0人

審査事件

議案第110号 令和5年度米子市一般会計補正予算（補正第7回）のうち経済部所管部分

~~~~~

午前11時39分 開会

○田村分科会長 ただいまから予算決算委員会都市経済分科会を開会いたします。

本日は、先ほどの本会議で予算決算委員会に付託された議案のうち、当分科会の審査担当とされました議案1件について審査をいたします。

都市整備部所管について審査をいたします。

議案第110号、令和5年度米子市一般会計補正予算（補正第7回）のうち都市整備部所管部分を議題といたします。当局の説明を求めます。

岡島建設企画課総務担当課長補佐。

**○岡島建設企画課総務担当課長補佐** では、議案第110号、令和5年度米子市一般会計補正予算（補正第7回）のうち都市整備部所管部分について説明いたします。

このたびの補正予算は、いずれも国の補正予算に伴う社会資本整備総合交付金など、国費の追加配分によりまして、事業費を増額し、事業の進捗を図るものでございます。また、年度内の事業完了が見込めないため、併せて繰越明許費を計上しております。

それでは、歳出予算の事業の概要6ページを御覧ください。先ほど画面では通知をさせていただきました。6ページ上段、道路維持補修事業（補助）、あとはその下段の橋りょう補修事業、続きまして、次の7ページ上段の道路新設改良事業、下段の安心・安全な通学路整備事業につきまして、工事費など事業費を増額しております。次に、8ページになります。8ページの上段、市道安倍三柳線改良事業は、移転補償費など1億1,000万円の増額をしております。次に、その下段、市道上福原東福原線改良事業（皆生温泉環状線改良事業・3工区）、次の9ページ上段でございます。和田浜工業団地内市道改良事業、その下段の市道外浜街道線（浜橋）改良事業につきまして、設計委託料などの事業費を増額しております。次の10ページになります。10ページの上段、米子駅周辺街まちなかウォークブル推進事業は、市道米子駅目久美町線の整備工事費を計上いたしまして、駅南側の歩いて楽しい環境づくりに早期着手いたします。その下段でございます。県営街路事業負担金は、国費の追加配分による県の事業費の増額に伴いまして、本市の負担金を増額するものでございます。最後に、次の11ページでございます。上段、公園施設長寿命化事業は、公園施設長寿命化計画に基づきまして、9か所の公園の施設や遊具の更新整備を行います。参考といたしまして、委員会資料の中に、1番、社会資本整備総合交付金等の追加配分の状況及び2番の関係位置図を作成しておりますので、併せて御覧ください。今後もインフラ整備のための財源確保につきまして、国への要望活動をはじめ引き続き努力してまいります。説明は以上でございます。

**○田村分科会長** 当局の説明が終わりました。委員の皆様の質疑、御意見をお願いします。

〔「なし」と声あり〕

**○田村分科会長** ないようですので、以上で都市整備部所管部分の審査を終わります。

予算決算委員会都市経済分科会を暫時休憩いたします。

**午前11時43分 休憩**

**午前11時47分 再開**

**○田村分科会長** 予算決算委員会都市経済分科会を再開いたします。

経済部所管について審査をいたします。

議案第110号、令和5年度米子市一般会計補正予算（補正第7回）のうち経済部所管部分を議題といたします。当局の説明を求めます。

山内農林課長補佐。

**○山内農林課長補佐兼農政担当課長補佐** そういたしますと、議案第110号、令和5年度米子市一般会計補正予算第7回を説明させていただきます。

令和5年度一般会計補正予算のうち、本分科会に付託されました経済部所管の事業について一括して説明いたします。まずは歳出予算の事業の概要を御覧ください。4ページ上段、産地生産基盤パワーアップ事業でございます。これは国の補正予算により、大豆の生産拡大に向けた施設の導入経費の一部を補助するものでございます。次に、同ページ下段、林業成長産業化促進対策事業でございます。これは県の補正予算に伴う県産材の供給体制の構築を受けた施設整備に要する経費の一部を補助するものでございます。次に、5ページ上段、物価高騰・円安対応融資利子補給基金積立金でございます。これが、物価高騰等により影響を受けた事業者への融資に係る利子を県と協調して補助するための原資を基金へ積立てようとするものでございます。次に、同ページ下段、もっとキャッシュレスで応援！よなごプレミアムポイント還元事業でございます。これは引き続き消費喚起による地域経済の活性化を図るため、J-Coin Payを活用し、市内で行われたキャッシュレス決済に対して市内店舗のみ利用可能であるポイントを還元するものでございます。次に、11ページ下段、どらドラパーク米子市民球場整備事業でございます。これは令和6年度に予定しておりました、どらドラパーク米子市民球場のスコアボードLED更新、放送設備更新、ナイター照明LED更新に係る工事の一部につきまして、国の補正予算における国庫補助金の追加配分に伴い、本事業の推進、進捗を図るため、予算を補正し対応するものでございます。最後に、12ページ下段、災害復旧事業（農地）でございます。これは、本年11月12日及び13日の局地的大雨により崩落した農地ののり面を復旧するための工事経費を予算化し、農業者の経営安定化を図るものでございます。被災箇所につきましては、配付させておりますので御覧いただきたいと思います。

次は予算書で説明をしますので、令和5年度米子市補正予算書を御用意いただき、7ページを御覧ください。繰越明許費でございます。表上から2段目、産地生産基盤パワーアップ事業費でございます。これは国の補正予算を活用した事業であり、年度内完了が見込めないため繰越明許をお願いするものでございます。次に3段目、林業成長産業化促進対策事業費でございます。これは県の補正予算を活用した事業であり、年度内完了が見込めないため繰越明許をお願いするものでございます。次に4段目、もっとキャッシュレスで応援！米子プレミアムポイント還元事業費でございます。これは年度内完了が見込めないことから、繰り越しをお願いするものでございます。次に14段目、どらドラパーク米子市民球場整備事業費でございます。これは国の補正予算における国庫補助金の追加配分に伴い実施する、どらドラパーク米子市民球場のスコアボードLED更新、放送設備更新、ナイター照明LED更新に係る工事につきまして、年度内完了が見込めないため予算を繰り越すものでございます。最後に、15段目、災害復旧事業費（農地）でございます。これは国の補正予算を活用した事業であり、年度内完了が見込めないため繰越明許をお願いするものでございます。

最後に、9ページを御覧ください。地方債でございます。表上から3段目、体育施設整備事業費でございます。これは国の補正予算における国庫補助金の追加配分に伴い実施する、どらドラパーク米子市民球場整備事業につきまして、国庫補助金を除く事業費の財源として地方債を補正するものでございます。説明は以上でございます。

**○田村分科会長** 当局の説明が終わりました。委員の皆様の質疑、御意見をお願いします。  
岡田委員。

**○岡田委員** すみません。このどらドラパーク米子市民球場の整備事業費ということ、国からの配分があったということでされるのは大変いいと思うんですけど、前回の淀江のときもそうだったんですけど、淀江球場もきれいにさせていただいて、照明ってつけてなかったんで、それから数年して照明が使えないというような状況がありましたよね。で、結果的に照明設備が、これで市民球場も使うと淀江も両方使えないってことになるんで、だから工事されるに当たってはですね、予算のその範囲ということはあるんでしょうけど、直すべきものは今回の事業の中で、ある一定の不備が見込まれるものに関してはぜひ直していただくように、要望しておきたいというふうに思います。

**○田村分科会長** 特に答弁は要りませんね。

**○岡田委員** はい、いいです。

**○田村分科会長** じゃあ、ごめんなさい、先に奥岩委員。

**○奥岩委員** 災害復旧事業（農地）のところですね、ほかの事業も含めて、この時期なので県補助があつて繰越ってということなんですけど、そちらはスケジュールとしては、予算可決された場合のスケジュールはどのぐらいを見込んでおられますでしょうか。

**○田村分科会長** 深吉農林課土地改良担当課長補佐。

**○深吉農林課土地改良担当課長補佐** スケジュールについてでございますが、順調にいけば1月に申請をいたしまして、1月の後半ぐらいに発注、そして4月末ぐらいまでかかるんじゃないかというふうに考えております。以上です。

**○田村分科会長** 奥岩委員。

**○奥岩委員** 農地のり面復旧で農業経営安定を図るとのことなんですけど、ここで何を作られているかは大体分かると思うんですけど、そのスケジュールで支障はないですか。

**○田村分科会長** 深吉担当課長補佐。

**○深吉農林課土地改良担当課長補佐** 今の被災してるところはですね、田んぼをやっているんですけども、たまたまといいますか、今回は田んぼのほうはやらないってことを言っておられまして、ちょっと年度越えても支障がないってことだったので、やる予定としております。

**○田村分科会長** 奥岩委員。

**○奥岩委員** 作物を作られるかどうかは事業者さんの判断だとは思いますが、田んぼってということで水稲だと思いますので、4月ぐらいまでに終われば何とか間に合うんじゃないかなと思います。災害復旧で農地きちんと確保するためにやっておられますので、スケジュールを聞かせていただきましたけど、まあ、やられるとは思いますが、できるだけ早い段階で支障がないようにということですので、支障がないようにさせていただいて、できれば作物のほうの作付けもしていただけるように進めていただきたらと思いますのでお願いします。以上です。

**○田村分科会長** では、続いて松田委員。

**○松田委員** 2事業をちょっと質問します。どらドラパークなんですけれども、スコアボード等の改修ということでありましたけど、この中には、先ほどの説明の中のバックネット裏というか、ホームの後ろというか、の壁の部分っていうのは、この工事の中には含ま

れているのか。もう既に塗り直したいなものができているのかっていうのを伺っていいですか。

**○田村分科会長** 成田スポーツ振興課長。

**○成田スポーツ振興課長** このたび補正のほうで挙げさせていただきました工事の内容といたしましては、今年度既に設計に着手しております、どらドラパーク米子市民球場のスコアボードのLED更新・放送設備の更新・ナイター照明のLED更新を既に今年度実施設計のほうを着手させていただいております。それを来年度工事で行う予定だったんですけれども、それについての工事費の一部を前倒して国の補助金を受け入れて実施をしようとするものです。先ほど御質問のありましたバックネット裏の壁の部分につきましては、ちょっと来年度、当初予算のほうで実施については検討しているところでございます。以上です。

**○田村分科会長** 松田委員。

**○松田委員** バックネットというか後ろの壁の部分で、テレビ中継の中でも大変目立つので、市民の方からも声があつてですね、やっぱりちょっと壁の後ろの部分だけでも何とかっていう声やはり結構ありましてですね。プレーする側についてもやはりピッチャーなんか気になる部分かなと思いますので、ぜひ進めていただければと思います。もう一つだけいいですか。

**○田村分科会長** はい、どうぞ。

**○松田委員** キャッシュレスについてなんですけども、一応内容について還元の仕方というか、割合というかパーセンテージ少し変わってるようなんですけれども、その辺りは何か意図があつてそのようにされたのか。

**○田村分科会長** 石田経済部次長。

**○石田経済部次長兼商工課長** 今、資料のほうを見ていただくと、還元率10パーセントということにさせていただいております。まず最初に検討したのは、還元額をどのようにさせていただくかというところで、第1回目の実績というところで1万7,000人の方がキャンペーンに参加していただくという中で、限られる財源の中でまず金額が1万円程度っていうところがまず最初にありまして、その後、じゃあ還元率をどうするかというところで、第1回目のところが予定よりも急遽終わるような、早期に終わったということがございましたので、今回中身の中でフォルダーさんといいましょうか、ユーザー様をちょっと増やしたいという思いもありましたので、こちらのほうはちょっと息の長いキャンペーンになるような形を考えて10パーセントということに決定をさせていただいたものでございます。以上です。

**○田村分科会長** 松田委員。

**○松田委員** ちょっとすみません。上限額に達するまでの間、期間ということですけど、大体今の見込みでいつ頃までに終了予定なのかなというのをお聞きかせください。

**○田村分科会長** 石田経済部次長。

**○石田経済部次長兼商工課長** これは見込みということですが、第1回目が大体2か月半というところでございましたので、それから還元率を半分にしているということで、期間が約倍ぐらいにはなるんじゃないかと思っております、実際に今、みずほ銀行様をお願いする事務費についても、おおむね6か月程度というところで試算をしていただ

いているというところでございます。以上です。

○**松田委員** 分かりました。

○**田村分科会長** 徳田委員。

○**徳田委員** 重ねてですけれども、令和6年プレミアムポイント還元事業について要望したいと思います。先ほど課長さんのほうから新規ユーザーへのポイント付与ということで、これが目的としてはフォルダーを増やすためということでございます。肝腎なのは、やはりここにたどり着くまでの手当ということが肝腎になろうかと思ひますし、今般非常に望ましいなと思ったのが、デジタル活用支援事業を併せてやるということですので、誘導をですね、一体となって手当していただくように重ねて要望させていただきます。以上です。

○**田村分科会長** 森田委員。

○**森田委員** すみません、1点だけ。重ねてなんですけれど、そのユーザーを増やしていくみたいところで今回インセンティブをつけられていると思うんですけども、実際の付与額が決済額の10%で上限1万円までというところで、前回の取組と比べられてしまうとちょっとインパクトが弱いかなというふうに思ひまして。その辺り広報で工夫が必要になってくるのではないかと思うんですけども、その辺り今現在で検討されているところがあればお伺いしたいと思ひます。

○**田村分科会長** 石田経済部次長。

○**石田経済部次長兼商工課長** 第1回目のキャンペーンの実績を踏まえながらですね、11月の委員会の中でも御報告をさせていただいた中で、若者の数が増えていないとか、あとは高齢者の方になかなか届いていないところがありましたので、事務費の中でですね、やはりウェブ広告を出していただくとか、使用が低かったようなものについてはやめるような形にして、今回なかなか全世帯に届いてないというようなことがございましたので、チラシについてはできる限り多くの世帯にポスティングもするような形でやりたいというふうには今考えているところでございます。以上です。

○**田村分科会長** ほかにありませんか。

又野委員。

○**又野委員** 続けてプレミアムポイントの件なんですけれども、これまで市民の方の意見として、実際アプリを使えるようなスマホなどを持ってないとか、もう現金支払いしかしてないという人とか、あと口座情報をいろいろなところに知られるのが嫌なのでこういうのはしてないっていう人も、だから現金支払いをしてるっていう人とかもおられるんですけども、まあそういう意見を伝えてきたと思うんです。この辺については、これをまたするっていうことで、どういうふうを考えておられてこの事業をまたされるのかというところを聞かせてもらえますでしょうか。

○**田村分科会長** 石田経済部次長。

○**石田経済部次長兼商工課長** こちらのところでございますけれども、1回目のときにもお答えをさせていただいたと思うんですけど、これはキャッシュレス決済のアプリを使っていたための事業者支援というところがありますので、引き続き御協力いただけるような市民の方にですね、こういった事業をするということをしっかり周知させていただくことによって、御協力いただける方にはスマホを買っていただくようなこともあるか

もしも、J-Coinというアプリを入れていただくこともあるかもしれませんが、そこは申し訳ないんですけども、周知を一生懸命させていただいて、御協力いただくということだろうというふうに、そのところは変わっておりません。以上です。

**○田村分科会長** ほかにありませんか。

大下委員。

**○大下委員** ちょっと1点お聞きしたいと思います。対象店舗数なんですけど、これは変更はないのでしょうか。

**○田村分科会長** 石田経済部次長。

**○石田経済部次長兼商工課長** 今現在の対象店舗というのは、11月に御報告させていただいたときに1,750というふうにお伝えしたと思うんですけど、今現在は1,800をちょっと超えているということでございますが、1回目のキャンペーンのときに、使える使えないというところのトラブル的な苦情もいただいたところがありますので、直近の実績がないような事業者様にはしっかりと周知をして、キャンペーンに参加いただくかどうかということもしながら、開始までにはしっかりと整理をしていきたいなというふうに思っております。以上です。

**○大下委員** 分かりました。

**○田村分科会長** では、ないようですので、以上で経済部所管の審査を終わります。

予算決算委員会都市経済分科会を暫時休憩いたします。

**午後0時05分 休憩**

**午後0時06分 再開**

**○田村分科会長** 予算決算委員会都市経済分科会を再開いたします。

予算決算委員会における分科会報告の意見の取りまとめを行います。報告に入れる意見につきまして、皆様の御意見を求めます。

〔「なし」と声あり〕

**○田村分科会長** ないですね。では、特になかった旨報告させていただきます。

以上で、予算決算委員会都市経済分科会を閉会いたします。

**午後0時06分 閉会**

米子市議会委員会条例第29条第1項の規定により署名する。

予算決算委員会都市経済分科会長 田村謙介